

学 校 関 係 者 評 価 報 告 書

愛媛県立三島高等学校（ 2 ）

評価実施日 令和 5 年 2 月 15 日（水）

評 価 ・ 提 言 等

提言等に対する改善方策等

1 評価アンケートの最終評価について

- ・ コロナ禍においても、卓球部の活躍や自然科学部、放送部、簿記部等の活躍は大変うれしく思います。
- ・ スクールライフアドバイザーの配置は、生徒はもちろん保護者にとっても心強い取組であると感じます。
- ・ 生徒たちは、SNSを利用することで、利便性は向上しているが、コミュニケーション能力の低下が気になる。
- ・ 今年度の三島高校の推薦入試の倍率を見て、軒並み定員割れの中、すばらしい倍率を維持していた。先生方の一生懸命な努力がよくわかり、地元にこういった学校があることをありがたいと感じます。

2 自己評価表の最終結果について

- ・ 校則における身だしなみ指導について、生徒の意見等が必要だと感じます。
- ・ 生徒向けアンケートの中に、食生活に関する項目を入れてはどうか。
- ・ 実習や実験の回数について、増加は望めるか。

3 次年度に向けての提言等

- ・ コロナの影響もあり、学校を休むことへのハードルが下がっているように感じる。コミュニケーション不足もあり、人間関係に悩んだ生徒の相談について、話しやすい環境整備をしていただきたい。
- ・ 入学する生徒たちの学習における習熟度にかかなりの差があると思われるが地道な対応をお願いしたい。
- ・ 入学を希望する中学生に対して、高校としてのアピールできる点を増やしてほしい。
- ・ 最近の生徒は、全体的におとなしい生徒が多いように思います。自分の意見をしっかりと持って、人前で意見を述べることができる生徒育成をお願いしたい。
- ・ 先生も生徒も多忙だと思うが、学校・保護者・地域が一体となった生徒育成に努めていただきたい。

- ・ 生徒の可能性を少しでも伸ばせるよう、指導者側も連携を密にし、協力体制を整えたい。
- ・ 生徒や保護者との面談を実施するなど有効活用できているが、今後更に連携を密にしていきたい。
- ・ 学校アンケートはもとより、日々の生活への目配りや気配りを欠かさず、サインを逃さないように注意する。
- ・ 今後とも、「夢を叶える三島高校」を合言葉に、生徒ファーストの取り組みに努めていきたい。
- ・ 生徒総会や生徒による学校評価を踏まえ、女子スラックスの導入（R04導入）やジェンダーの平等を意識した取り組みに努めたい。
- ・ ヤングケアラーやネグレクト対策においても、貴重な意見であると思う。前向きに検討したい。
- ・ コロナ禍であったりカリキュラムの問題もあるが、実習や実験を通して学べることも重要と考え、できる限りの対応をしたい。
- ・ 年間3回の「悩みアンケート」及び「三島高校アンケート」を実施しているが、本年度から新たに、24時間・365日対応にて、早期発見・早期対応できる「WEB三島高校SOS相談窓口」を開設し、生徒の悩みに迅速に対応できる体制（一人一台端末等利用）を整えるなど迅速な対応を心がけている。
- ・ 生徒数の減少により、生徒の学習における習熟度の差はあるものの、教職員が一丸となって地道な個別指導や補習等により生徒の学力向上に努めたい。
- ・ 学校行事やボランティア活動等を通して、生徒の活躍の場を増やすとともに、経験からくる自信によって、しっかりと自分の意見を述べられる生徒の育成に努めたい。
- ・ 時間が許す限り地域との関わりも深め、ボランティア活動や地域の活動への参加を深め、生き方・考え方等の啓発・協力体制を図りたい。